Thule Chariotクーガー1 & 2

› 取扱説明書

D
51100468

Bring your life
thule.com

目次

1 はじめに
1.1 本マニュアルの目的 04
1.2 キャリアの用途 04
1.3 仕様 04

2 各部について

3 安全性
3.1 シンボルと指示 06
3.2 全般的な安全指示 06

4 使用を開始する
4.1 キャリアの開封 08
4.2 同梱のコンポーネント 08
4.3 キャリアの展開 09
4.4 キャリアの折り畳み 09
4.5 車輪の取り付け 10
4.6 車輪の取り外し 10
4.7 ハンドルバーの取り付け 11
4.8 Thule変換キットの取り付け 11

5 使用法と機能
5.1 パーキングブレーキのセッティング 12
5.2 2層式カバーの使用 13
5.3 お子様の着席とシートベルトの装着 14
5.4 安全用ハンドストラップの使用 15
5.5 Thuleサスペンションの調節 15
5.6 日よけの使用 16
5.7 側部の通気口の使用 16
5.8 カーゴバッグと収納 16
5.9 カーゴバッグの使用 17

6 その他の情報
6.1 アクセサリー 18
6.2 サービスとお手入れ 18
6.3 保管 19
6.4 消耗と破損 19

1 はじめに

Thule Chariotクーガーをお求めいただき、まことにありがとうございます。このキャリアは確かな品質と高水準の安全機能を備えており、快適にご利用いただけます。

ご注意ください:
すべてのThuleチャイルドキャリアは、ご利用になる方の利便性を考え、最大限の柔軟性と性能を発揮できるように設計されています。この利点を十分に活かすために、変換キットのご購入をおすすめします。キットを使用して目的の機能を追加すれば、複数の専用チャイルドキャリアを購入せずにすみます。最寄りの販売店で、次の4種類のThule変換キットをお求めいただけます。

Thuleストローラーキット

Thuleジョギングキット

Thuleサイクルトレーラーキット

Thuleクロスカントリースキー
＆ハイキングキット

Thule Child Transport Systems Ltd.は、本オーナーズマニュアルに対するすべての権利を保持します。本マニュアルに含まれるすべてのテキスト、詳細項目、画像は、複製または配布してはならず、許可なく商用目的で使用することも、他者に利用可能な形で提示することもできません。

このキャリアの使用に関する他のマニュアルは、www.thule.comからダウンロードできます。
本マニュアルの作成には十分な注意を払っておりますが、誤りがあった場合は、弊社までご一報いただけますようお願いいたします。

Thule Child Transport Systems Ltd.
105 - 5760 9th Street SE Calgary, AB T2H 1Z9 Canada

info@thule.com

www.thule.com

» PART OF THULE GROUP

1.1 本マニュアルの目的

マニュアルの対象読者
このマニュアルは、キャリアの状態を適切に保ち、所定のメンテナンスや修復を実施するオーナーとユーザーを対象としています。

Thuleサイクルトレーラーキットと組み合わせてキャリアを使用する場合は、牽引に使用する自転車のオーナーズマニュアルも参照し、そこに記載されている自転車の最大許容重量に関する仕様に従ってください。

1.2 キャリアの用途

想定される用途
このキャリアは、規定の性能範囲内で、日中に歩道や交通量の少ない公道、滑らかな小道上でお子様を運ぶために使用します。

キャリア内のお子様に危険が及ばない程度に、収納バッグに荷物を入れて運ぶこともできます。

夕暮れ時や夜間など、ものが見えにくい状況でチャイルドキャリアを使用する場合は、安全性が確認されているワーキングライトセットを取り付けることを強く推奨します。

推奨される使用法の一環として、このオーナーズマニュアルの指示に従い、規定の保守要件を遵守してください。

推奨されない使用法
上記の範囲を超えた使用は推奨されません。

非推奨の使用法には、人と動物を一緒に運ぶこと、凹凸の多いオフロード地帯での使用、商業目的での利用、過積載、速度の出し過ぎ、不適切な修理や改造などがあります。

推奨されない方法での使用が原因で発生した損害について、製造者は責任を負いません。こうした使い方は使用者を危険にさらします。

1.3 仕様

	Chariotクーガー1	Chariotクーガー2
最大乗員重量 乗員と荷物を含む最大積載重量 定員（小児）	22 kg / 49 lb 34 Kg / 75 lb 1名	22 kg / 49 lb 45 Kg / 100 lb 2名
ハンドルバーを除く寸法（長さ x 幅 x 高さ）	89 x 69 x 86 cm 35 x 27 x 34 in	90 x 82 x 86 cm 35 x 32 x 34 in
折り畳み時の寸法（長さ x 幅 x 高さ）	107 x 61 x 27 cm 42 x 24 x 11 in	107 x 80 x 27 cm 42 x 31 x 11 in
Thule変換キットを除くチャイルドキャリアの重量	11 kg / 24 lb	13 kg / 28 lb
乗員の最大身長 頭部やヘルメットがキャリアフレームからはみ出す場合は不可	111 cm / 44 in	

2
各部について

各部の名称

A. Chariotクーガー1または2本体シャーシ
B. 高さ調節可能なハンドルバー
C. 20インチのアルミ製車輪
D. 2層式レインカバー
E. アクセサリークロスバー

3 安全性

このチャイルドキャリアを十分に活用するために欠かせないのは、安全に使用することです。そのため、本マニュアルの安全に関する指示を熟知し、チャイルドキャリアの使用時には必ずそれらに従うことが極めて重要です。

3.1 シンボルと指示

このオーナーズマニュアルでは、警告とヒントを記載して安全性と最適な使用に関する情報を強調します。

警告

警告は、チャイルドキャリアの安全な使用や操作に関する重大な指示です。警告内容を守らない場合、事故が発生し、使用者やお子様が重傷を負ったり死亡したりすることがあります。

ヒント

ヒントは、製品をより簡単に使用するための指示です。

3.2 全般的な安全指示

- 重要 – 以下の指示は、今後も参照できるよう保管してください。
- 以下の指示に従わない場合、お子様の安全が脅かされる可能性があります。
- 決してチャイルドキャリア内にお子様を放置しないでください。
- このチャイルドキャリアを駐車する場合は、必ずパーキングブレーキをかけるようにします。
- チャイルドキャリアに上限以上のお子様や荷物を載せないでください。
- 製造者が推奨する荷重を超えて積載すると、チャイルドキャリアの安定性が損なわれることがあります。
- 重量制限を超えているお子様を乗車させないでください。
- チャイルドキャリアにお子様を1名だけ載せる場合、お子様は中央の座席位置に座らせてください。

- このチャイルドキャリアの使用時には、お子様が低温下で運動量の少ない状態のまま長時間過ごしたり、高温下で適度な換気や水分補給を行わずに長時間過ごしたりするなど、厳しい気候にさらされた場合の危険性（低体温症や熱中症など）に留意する必要があります。
- お子様の身体、衣服、靴ひも、玩具などが可動部に接触しないように注意してください。
- チャイルドキャリアを折り畳むときや展開するときに、指を挟まないよう注意してください。負傷を避けるため、お子様を可動部に近寄らせないようにします。
- チャイルドキャリアに、Thule Child Transport Systems Ltd.の承認を受けていないカーシートやその他の座席器具を取り付けないでください。
- Thule Child Transport Systems Ltd.が承認しているラック製品のみを使用してください。他のメッセンジャーバッグやラックを使用すると、チャイルドキャリアが不安定になることがあります。
- Thule Child Transport Systems Ltd.が承認していないアクセサリー製品を使用した場合、安全は保証されません。
- このチャイルドキャリアには洗浄用の溶剤を使用せず、刺激性の少ない石けんと水で洗浄してください。
- チャイルドキャリアを改造しないでください。
- 階段やエスカレーターでチャイルドキャリアを使用しないでください。
- 暖炉の火など、裸火の周辺や付近でチャイルドキャリアを使用しないでください。
- サイクリングに使用する場合、地域の規制に準拠した反射板をチャイルドキャリア後部に取り付ける必要があります。
- 毎回のサイクリング前に、取り付けたチャイルドキャリアが自転車のブレーキ、ペダル、ステアリングに干渉しないことを確認します。
- 夜間は、適切な照明を使用せずに自転車に乗らないでください。地域の法律で定められた照明に関する要件に従ってください。

警告

本製品はスケートには適していません。

警告

Thuleジョギングキットを取り付けていない場合、本製品はランニングに適していません。

警告

お子様が本製品で遊ばないようにしてください。

4
使用を開始する

4.1　キャリアの開封

A.　箱を開封し、ホッチキスの針を外します。
B.　箱からハンドルバーを取り出します。
C.　汚れていない頑丈な平面に、箱を横にして置きます。
D.　箱からキャリアと車輪を引き出します。（図1）
E.　梱包材をすべて外して廃棄します。

4.2　同梱のコンポーネント

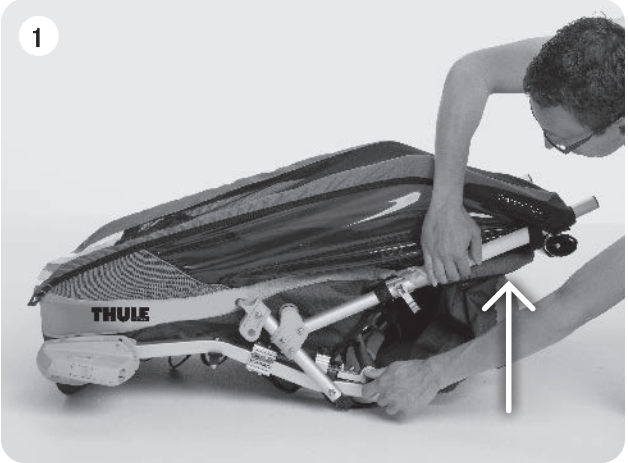
お買い上げのキャリア製品に、以下の内容が同梱されていることを確認してください。

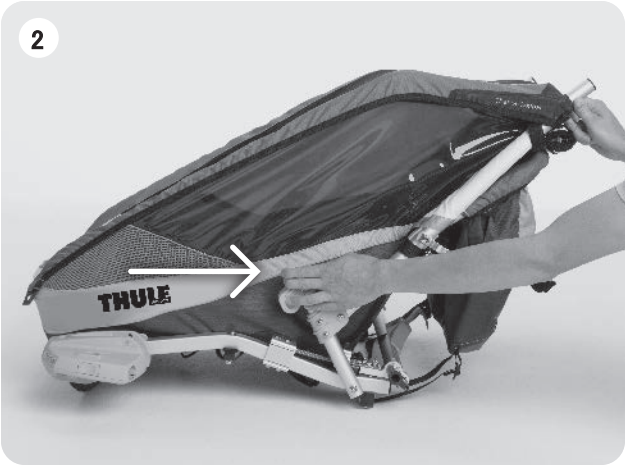
- Chariotクーガー本体シャーシ
- 2層式カバー（シャーシに付属）
- ハンドルバー
- 20インチ車輪2枚
- アクセサリークロスバー
- オーナーズマニュアル

ヒント

必要なときに最良の状態で利用できるよう、キャリアと各部品は安全で乾燥した場所に保管します。

4.3 キャリアの展開





A. 片手でキャリアアクスルを押さえておき、反対の手で上部フレームを持ち上げて、それらのフレームを引き離します。(図1)
B. 片手で上部フレームを、反対の手でClick n' Store™ブラケットを持ち、自動ロックディスクがかみ合うまで、後部フレームを後方に引きます。キャリアの反対側でも同じ手順を実施します。(図2)
C. 左右の後部フレームを前方に押してみて、キャリアのフレームがロックされていることを確認します。

警告

使用前に、各部がしっかりロックされていることを確認してください。

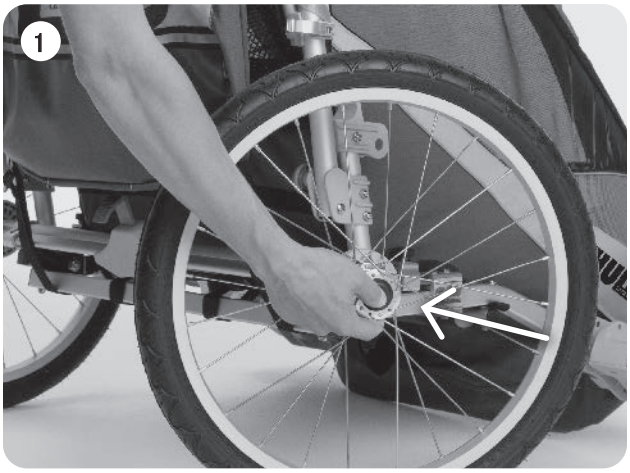
4.4 キャリアの折り畳み

A. 後部フレーム片側の自動ロックディスクを片手で引くか解放します。反対の手でClick n' Store™ブラケットを前方に押します。キャリア後部フレームの反対側でも同じ手順を実施します。(図3)
B. 片手で上部フレームを持ち、反対の手をキャリアアクスルに置いて、両者を引き寄せて畳みます。

警告

チャイルドキャリアを折り畳むときや展開するときに、指を挟まないよう注意してください。負傷を避けるため、お子様を可動部に近寄らせないようにします。

4.5 車輪の取り付け



A. 車輪のリリースボタンを押したまま保持します。
B. 車輪のアクスルをキャリアのアクスルに挿入します。(図1)
C. 車輪リリースボタンを解放します。
D. キャリアのアクスルに車輪を完全に押し込みます。
E. 強く引いて、車輪がキャリアにしっかり連結していることを確認します。
F. もう一方の車輪も同様に取り付けます。
G. 空気圧計を使用して、各タイヤの空気圧を確認します。タイヤ空気圧の推奨値は、最小30 psi(2.1 bar)、最大35 psi(2.5 bar)です。
H. いずれかのタイヤの空気圧が低すぎる場合は、サイクル用タイヤポンプを使用して空気を入れてください。

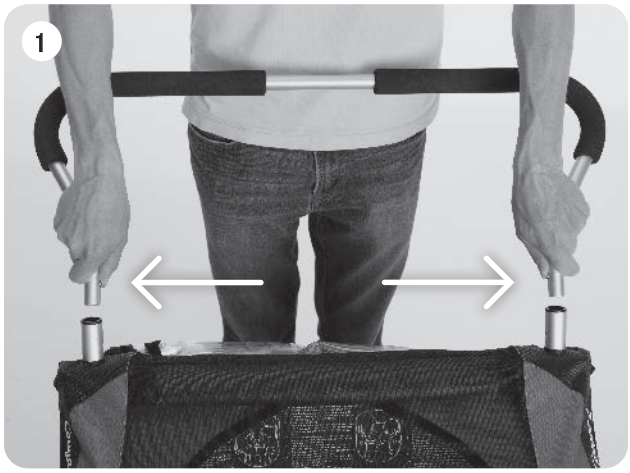
警告

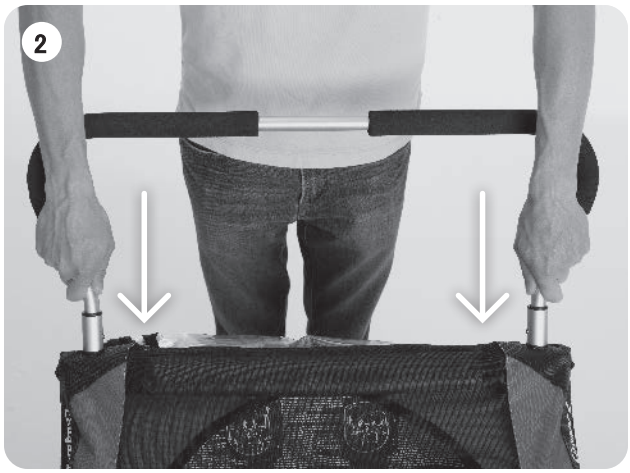
出発前に、両方の車輪がキャリアアクスルにしっかりロックされていることを確認します。

4.6 車輪の取り外し

A. 車輪のリリースボタンを押したまま保持します。(図2)
B. 車輪をキャリアのアクスルから引き抜きます。
C. もう一方の車輪も同様に取り外します。

4.7　ハンドルバーの取り付け





A.　ハンドルバー両側をそれぞれの手で持ち、末端にあるスプリングボタンを押して保持します。（図1）
B.　キャリアの上部フレームにハンドルバーの両端を挿入します。スプリングボタンを適切な位置にはめ込みます。（図2）
C.　強く引いてもハンドルバーがキャリアにしっかり連結しており、抜けないことを確認します。
D.　ハンドルバーを取り外すには、上部フレームの上から両方のスプリングピンを押し、ハンドルバーを引き抜きます。

警告

出発前に、ハンドルバーのスプリングピンが両方ともしっかり連結されていることを確認してください。

ハンドルに荷物を引っ掛けるとチャイルドキャリアの安定性が損なわれます。

4.8　THULE変換キットの取り付け

A.　以下のいずれかのThule変換キットを選択します。
- Thuleストローラーキット
- Thuleジョギングキット
- Thuleサイクルトレーラーキット
- Thuleクロスカントリースキー＆ハイキングキット

B.　Thule変換キットの説明書に従って、選択したキットを取り付け、使用します。

ヒント

調節可能なHeightRight™ハンドルバーは高低2つのハンドル位置をとることができます。2つの位置を切り替えるには、ハンドルバーを取り外し、反転させます。

5
使用法と機能

5.1 パーキングブレーキのセッティング

A. キャリアアクスル上の赤いフットペダルを踏むと、パーキングブレーキがかかります。(図1)
B. ブレーキをかけたら、キャリアが前後に転がらないように必ずパーキングブレーキの効きを確認します。
C. キャリアアクスル上の赤いフットペダルを引き上げると、パーキングブレーキが解除されます。(図2)

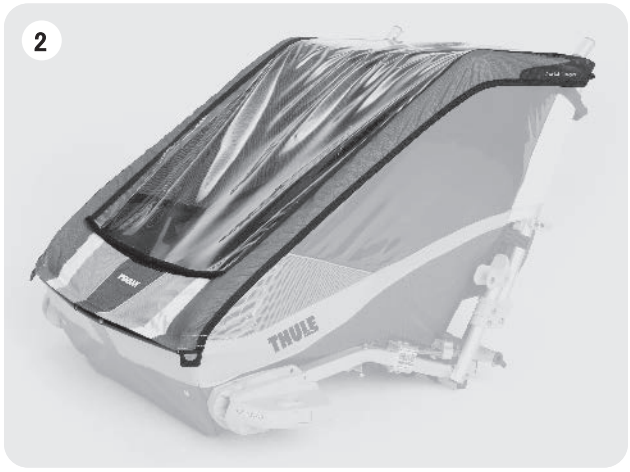
警告

決してチャイルドキャリアにお子様を放置しないでください。

お子様の乗降時には、常にパーキングブレーキをかけておくようにします。

ヒント

パーキングブレーキの調整は不要です。



5.2 2層式カバーの使用

A. キャリア内の通気をよくするには、ビニル製ウィンドウを巻き上げます。カバー上部のゴムリングで、巻き上げたウィンドウを留めておきます。(図1)
B. キャリア内に雨や埃などが入らないようにするには、ビニル製ウィンドウを下ろします。ウィンドウを閉めるには、フロントウィンドウの側方にあるジッパーを引き下ろします。
C. カバーを開くには、カバー底部のサムタブを引き下ろし、キャリア前面から外します。
D. カバーを閉じるには、カバー底部のサムタブを引き下ろし、キャリア前面に引っ掛けます。(図2)
E. キャリアからカバーを外すには、ハンドルバーとアクセサリークロスバーを取り外し、カバーを開き、カバーの上部を引き上げて上部フレームから外します。
F. キャリアにカバーを取り付けるには、ハンドルバーを取り外し、アクセサリークロスバーを取り外し、カバー上部の穴を上部フレームに合わせます。

警告

このチャイルドキャリアの使用時には、お子様が低温下で運動量の少ない状態のまま長時間過ごしたり、高温下で適度な換気や水分補給を行わずに長時間過ごしたりするなど、厳しい気候にさらされた場合の危険性(低体温症や熱中症など)に留意する必要があります。

警告

このチャイルドキャリアをサイクルトレーラーとして使用する場合は、キャリア内にごみが入らないようにレインカバーを閉じておきます。

5.3 お子様の着席とシートベルトの装着

A. パーキングブレーキをかけます。
B. 2層式カバーを開きます。
C. ベルトの調整具をすべてゆるめます。
D. 赤いリリースボタンを押して、ショルダーハーネスのクロッチストラップバックルを外します。
E. お子様を座らせます。
F. 背もたれの縦向きウェブストラップに付いているショルダーベルト高さ調整具をスライドさせて、お子様の肩の高さに合わせます。(図1)
G. クロッチストラップを持ち上げて2つのショルダーストラップバックルを接続し、それらを一緒にクロッチバックルに挿入します。(図2)
H. ショルダー長さ調整具を使用してハーネスシステムを調整し、クロッチストラップバックルが胸の下部に来るよう位置を合わせます。(図3)
I. ショルダーストラップの垂れ下がっている端を下方に引き、2本ともしっかりと締めます。お子様の腰と肩の位置でハーネスシステムがたるんでいないことを確認します。また、ショルダーパッドの位置が、お子様の肩の上部、首の隣に来ていることも確認してください。

警告

このシートユニットは6ヶ月未満のお子様には適していません。お子様が自分で座れるようになってからハーネスを使用してください。

厚さ10 mm以上のパッドを取り付けないでください。

使用前に、シートユニットの取り付け器具が正しく接続されていることを確認してください。

転倒や滑落でお子様が大きなけがをしないよう、必ずシートベルトを着用してください。

ヒント

クーガー2にお子様を1名だけ載せる場合は、常に右側の座席に座らせるようにします。

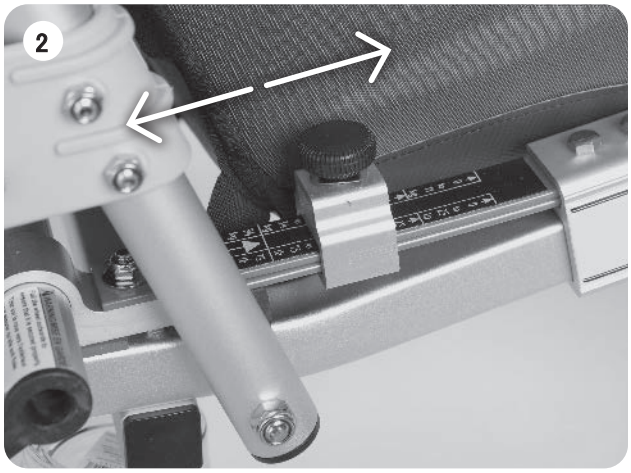
5.4 安全用ハンドストラップの使用

A. 使用時にチャイルドキャリアが勝手に動かないように、安全用ハンドストラップの端の輪を手首に通しておきます。(図1)
B. 使用しないときは、安全用ハンドストラップの端を大きなメッシュポケットに収納します。

警告

安全用ハンドストラップを正しく使用しないと、キャリアの自走を招き、お子様が重傷を負ったり死亡したりする事故につながるおそれがあります。

5.5 調節可能サスペンションの調節



A. キャリアに誰も乗っていない状態で、調節ノブをゆるめます(反時計回りに回します)。
B. リーフスプリングに沿って調整ブラケットをスライドさせ、調整ノブの後ろに記されているキャリア内の総重量(お子様の体重と積み荷の合計)に合わせます。(図2)
C. 調整ノブを締めます(時計回りに回します)。

ヒント

Chariotクーガー2では、体重の軽い乗員側の調整ブラケットの位置を若干前に、重い乗員側のブラケットを若干後ろに合わせて、車両全体の平衡をとることができます。

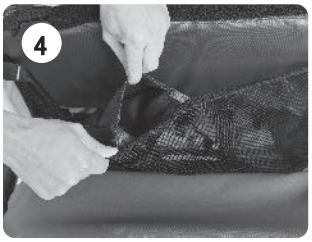
5.6 日よけの使用

A. キャリア内に日陰を作るには、巻いてある日よけを下ろします。底部のマジックテープで日よけを留めます。（図1）
B. キャリア内にもっと光を取り込むには、日よけを巻き上げます。上部のゴムリングで、上げた日よけを留めておきます。

5.7 側部の通気口の使用

A. キャリア内の通気性をよくするには、両側または片側の通気口を引いて開きます。
B. キャリア内に雨や埃などが入らないようにするには、側部の通気口を押さえて閉じます。閉じた通気口の端をマジックテープで留めます。（図2）

5.8 カーゴバッグと収納



このキャリアには、以下の収納コンパートメントが備わっています。

A. 背面下部のカーゴバッグ1つ。（図3）
B. 背面上部の大型メッシュポケット1個。（図4）
C. 大型メッシュポケット内の小型ポケット1個。
D. キャリア内前方の小型メッシュポケット2個。（図5）

ヒント

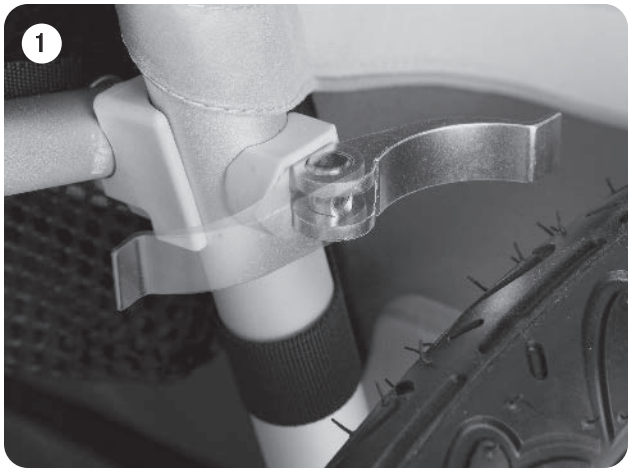
カーゴバッグの最大積載重量は4 kg (8.8ポンド)。

カーゴラックアクセサリーを使用すると、チャイルドコンパートメントの上に2.3 kg (5ポンド)の荷物を載せて運ぶことができます。

警告

チャイルドキャリアに上限以上のお子様や荷物を載せないでください。

5.9 カーゴバッグの使用



A. カーゴバッグを使用するには、後部フレーム両側でクイックリリースを開き、カーゴバッグを引き下げます。カーゴバッグを目的の位置に合わせ、クイックリリースを閉じて固定します。（図1）

B. カーゴバッグを収納するにはには、後部フレーム両側でクイックリリースをゆるめ、カーゴバッグを引き上げます。カーゴバッグを目的の位置に合わせ、クイックリリースを締めて固定します。（図2）

警告

製造者が推奨する荷重を超えて積載すると、チャイルドキャリアの安定性が損なわれることがあります。

6 その他の情報

6.1 アクセサリー

ご利用のChariotに対応しているアクセサリーは、数多くあります。

- ボトルケージ
- カップホルダー
- ジョギングブレーキ
- アクスルマウントezHitch部品
- シマノ内部ハブヒッチアダプター
- SRAM内部ハブヒッチアダプター
- カーゴラック
- ベビースリング
- オールシーズン対応ブンティングバッグ（おくるみ）
- ベビーサポーター
- 保管カバー
- レインカバー

詳細については、最寄りの販売店にお問い合わせいただくか、弊社Webサイト（www.thule.com）をご利用ください。

警告

適切なサービスとお手入れは、チャイルドキャリアの性能と安全性に影響を及ぼします。

6.2 サービスとお手入れ

ご使用のチャイルドキャリア、Thule変換キット、アクセサリーに損傷や消耗がみられないか、定期的に点検してください。

金属製の部品
へこみやひび割れがないか確認します。金属部品にひび割れや損傷がある場合、そのチャイルドキャリアは使用しないでください。

ファスナー
チャイルドキャリアを定期的に点検して、ファスナー部分にゆがみ、破損、欠損、ゆるみなどがないか確認します。ゆるんでいるファスナーは締め付けを行い、破損や欠損のあるファスナーは交換します。

サスペンション
ばねにひび割れや金属疲労の徴候がないか確認します。調整ブラケットを前後にスライドさせ、各ばねの全長を調べます。ばねにひび割れや破損箇所があるチャイルドキャリアは使用しないでください。

生地
生地に破れや摩耗などの損傷がないか、定期的に確認します。生地に穴が開いていると、お子様の手が車輪や路面に接触するおそれがあります。

車輪
車輪アクスルの汚れを落とし、露出しているすべての可動部にグリースかオイルを注油します。少なくとも年に1回は車輪の点検とサービスを実施してください。

また年に1回、認可されているサービス提供者にチャイルドキャリアのメンテナンスを依頼し、できるだけ良好な状態を保つことを強く推奨します。

チャイルドキャリアは定期的に温水と中性洗剤で洗浄し、粗いクレンザーや溶剤は使用しないでください。

6.3 保管

チャイルドキャリア、Thule変換キット、アクセサリーは直射日光を避け、乾いた場所に保管してください。可能であれば、チャイルドキャリアを吊り下げ、地面から離して保管します。かびや雑菌の繁殖を防ぐため、チャイルドキャリアを乾燥させてから収納します。車輪とウィンドウを接触させた状態で保管しないでください。また、チャイルドキャリアと自転車を連結させたまま、長期間保管しないでください。

6.4 消耗と破損

このチャイルドキャリアは非常に耐久性が高く、お子様の移動に長くご利用いただけます。しかし、時間の経過とともに、いくつかの要因から消耗や破損が生じることがあります。

使用状況と走行距離
チャイルドキャリアを使う機会が多ければ多いほど、また、押す距離が長ければ長いほど、消耗は早くなります。

サービスとお手入れ
チャイルドキャリアを清掃し、よく手入れしておくことは、製品のコンディションを良好に保つうえで重要です。

保管
チャイルドキャリアを適切に保管すると、生地をはじめ、各部の消耗を抑えることができます。

使用時の操作
急激な方向転換、急加速、急ブレーキなどは、ブレーキやタイヤをはじめ、さまざまな部品の消耗を早める原因になります。

天候
多様な気候条件が各部にさまざまな影響を及ぼします。直射日光は生地やウィンドウ、ゴム製の車輪の消耗を早めます。空気中や路上の塩分は、車輪のリムや底面の生地を傷めます。さらに土や泥が可動部に入ることも、消耗の原因になります。

早期の消耗が、必ずしも製品の品質上の問題とは限りません。チャイルドキャリアの使用方法やお手入れの状況が、消耗の進行に大きく影響します。